



—令和6年1月23日（火）15:00～16:40 音楽・文化交流館 大ホール—

【実践発表】 たちばな幼稚園

「円滑な接続を見通したアプローチカリキュラムの実践」「就学に向けた幼保と小の情報共有について」

<p>アプローチカリキュラムを意識し生活を通して資質、能力を育む取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"><li>園のスタートカリキュラム</li><li>オープン・体育教育から考える10の姿</li><li>アプローチカリキュラムの実践</li><li>情報共有の現状と課題</li></ol>	<p>健康</p> <p>明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう</p> <p>自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする</p> <p>健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、共通しをもって行動する</p>  	 
--	---	---

たちばな幼稚園では就学への円滑な接続を見通し、生活や遊びを通して「学びに向かう力・人間性」等の三つの資質・能力を育てています。特色として「オープン教育」「体育教育」があります。本園で実施されている「オープン教育」では幼稚園教育要領で示されている5領域を総合的に指導しています。具体的に、お店屋さんごっこやトマトの栽培、絵画制作等での園児の様子を伺いました。また、「体育教育」では発達段階や状況に応じて「最後までやりぬく強い心」を育てており、先生方が園児一人ひとりを認め、前向きに捉えることで、楽しみながらゲームや運動をしています。

小学校の情報共有については、訪問や要録の送付等を行っていますが、共通理解が難しい等の課題もありました。共有するためにはどのように引継ぎをしたら良いか等、協議会でも話題となり、課題解決に向け充実したグループ討議が行われました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ たちばな幼稚園の発表について

- 実践している教育活動は小学校の生活科と似ているところがあり、幼保と小のカリキュラムを共有して教育に繋がれたらと思いました。
- 体育教育では先生方ができないことを指導するのではなく、出来たことを認めていることが印象に残りました。子どもたちの様子を把握し、心に寄り添いながら育ちを支援することが大事であると感じました。

☆ テーマ「円滑な接続を見通したアプローチカリキュラムの実践」

「就学に向けた幼保と小の情報共有について」

- 小学校の先生方が幼稚園、保育所（園）を訪問して、子どもたちの様子や保護者対応等を見ることで相互理解が深まるのではないかと思います。
- 小学生と園児の交流事業は、園児にとっても就学への期待が高まるので、施設同士が創意工夫して交流を図ると良いと思います。

《参加者からのアンケートから》

- 幼稚園や保育園での経験に差があると小学校でも対応に困るのではないかと思います。やはり共通の認識で対応することが大切だと感じました。（保育所：参加者）
- グループ討議では、小学校の先生から「ここまでできることが必要」ではありません」という一言をいただき、とても安心しました。（保育所：参加者）

「協議会だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。